



Contents

巻頭言 Greenhorn Network 設立 10 周年を迎えて	1
スペシャルメッセージ	2
GNへのメッセージ<前編>	3
GN10 年間のあゆみ	4 - 6
GNへのメッセージ<後編>	7
数字で見る GN の 10 年間、メンバーの所属大学・関連機関	8

巻頭言 Greenhorn Network 設立 10 周年を迎えて

Greenhorn Network (以下、GN) は、2004 年に設立された若手大学職員勉強会／ネットワークです。当初は少人数でのスタートでしたが、今では約 200 名の若手職員がメンバー登録しており、首都圏最大規模の若手大学職員勉強会となっています。

その GN は 2014 年で 10 周年を迎えることができました。長期に渡って続けることができたのは、良い意味で「フランクな勉強会」として活動してきたことが大きな理由だと考えています。具体的には、勉強の場のみならず人的ネットワークができることを前面に打ち出したり、カタカナ名称を用いたりしたことが、若手層の職員の潜在的なニーズとマッチしたのだらうと推測しています。

一方で、設立当初は入職 1 年目ばかりだったメンバーも、今では各部署で多くの経験を積むようになり、GN に対して求めるものも多様化してきました。毎年新人層の職員が新規加入し、参加者の対象の幅が広がっていく中で、それぞれのニーズにマッチした場をどのようにつくっていくかがこれからの課題です。

若手の大学職員がざっくばらんな雰囲気の中で、学び・つながる場をこれからも創出していくとともに、大学職員という「職業」の魅力を参加者自身が認識し、社会に対してもそれが伝えられるような活動をしていきたいと考えています。

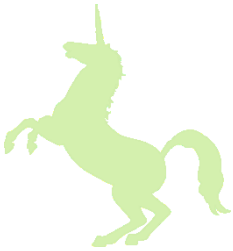
これからも GN への変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

Greenhorn Network 運営スタッフ一同

スペシャルメッセージ

これまでの Greenhorn Network の勉強会では、メンバーによる発表やグループワークだけでなく、外部からさまざまな方を講師としてお招きし、お話を伺う機会がありました。

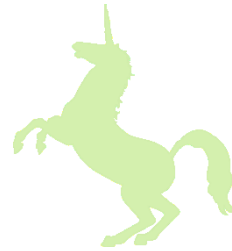
ここでは、そうした方々から頂いたスペシャルメッセージをご紹介します。



寺崎 昌男 様

立教学院本部調査役
東京大学名誉教授
桜美林大学名誉教授

2009年10月18日勉強会講師



小林 浩 様

リクルート進学総研所長
リクルート「カレッジマネジメント」編集長

2011年10月16日勉強会講師

関心にひるまず期待に応えよう

勉強会に招かれてから5年、学士課程教育構築のためSDを強調した中教審答申は、その3年前だった。

10年足らずにしかならないが、大学職員職への関心は大変な高まりようである。転入職希望の多さ、減ることのない新卒志願者を見ると、安定した、しかもやりがいのある職種だという認識がひろまっている。

この評価を大切に育てよう。やりがいを身体と言葉で示そう。皆さんの将来に期待をささげたい。

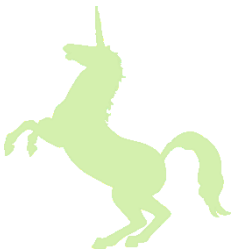


未来の大学は若手職員が創る！

発足10周年おめでとうございます。

社会環境が大きく変化するなかで、大学のあり方も問われています。是非、過去のしがらみや既成の概念にとらわれずに、議論し、ぶつかり合いながら、50年後、100年後も必要とされる大学を創っていきましょう。

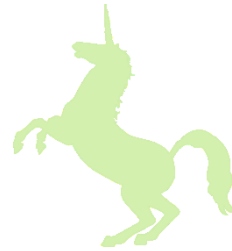
大学の未来は若手職員の双肩にかかっています！



倉部 史記 様

進路づくりプロデューサー
NPO法人NEWVERYフェロー

2009年7月25日勉強会講師



稲垣 靖 様

52ソリューション・ドット・コム株式会社 代表取締役社長

2013年7月21日勉強会講師

15年後の社会の姿は私達次第！

批判するのは簡単、でも実現していくのは難しいーそれが大学改革です。

多くの人が理想の大学像を語りますが、それを実現するのは大変。でも、大学が良くなれば、社会が良くなります。

日本の15年後がどうなるかは私達次第。私達は一人ではありません。大学の垣根を越えて連携し、目の前の現場から変えていきましょう。



大学職員はスペシャリストを目指せ！

インターネット出願などの経験を勉強会でお話しました。大学も職場も違う若手職員の方が1つのテーマに真剣に向き合い、活発な議論や質問が出て、久しぶりに私も年甲斐もなく興奮したのを覚えています。

これからの大学の果たす役割は益々多様化していくことでしょう。だからこそ、色々な経験を積みながら、ゼネラリスト集団の大学職員の中で、「このことは自分に任せなさい」と自負できるスペシャリストを目指してください。



- GNでの出会いに感謝しています！益々の発展を期待しております。(大阪・Y.M)
- GNを通じて**生涯に渡って語り合えるであろう仲間達に出会うことができました**。これからも大学職員間の架け橋的存在であるGNが長く続くことを願っています。(東京・よしだ)
- GNを通して同年代の大学職員から、業務上の悩みや解決に向けた考え方など、多くの刺激を受けることができました。これからも引き続き、若手職員の交流の場としての活動に期待しています。(東京・high190)
- GNにたくさんの気づき・出会いをいただきました。これからも益々の発展を心よりお祈りしています！(千葉・H.F)
- GNは久しぶりでもそんな感じがしない、親戚のような集まりと思っています。GNありがとう。これからもよろしくね。(東京・N.N)
- 入職同期の方々を中心に始まったGNも早10年を迎え、スタッフも大分入れ替わりりましたが、入職年度から参加できたことは大学職員人生で一番はじめの幸運でした。いつもありがとうございます。(東京・川邊幸輔)
- GNへの参加で、大学間のつながりや仕事に関する知識が深まりました。また、「仲間」に出会うこともできました。今後も創意工夫を重ね、さらなる発展を！(東京・Liza)
- 新人時代にGNに出会い、素晴らしい仲間に出会ったことに心から感謝！GNそしてメンバーの更なる発展を願います。(東京・Y.I)
- 大学職員にとって、気軽に参加できる学びの機会は少なかったため、Greenhorn Networkでは多くの機会を頂きました。スタッフの皆さまのひとかたならぬご尽力のおかげだと思っています。今後も若手の勉強の機会として、またモチベーション向上の機会を提供し続けてくださることを期待します。(東京・M)
- MLでの情報共有、若手学校職員の勉強会は大変有意義なことだと思います。若手職員の輪が更に広がることを願っています。(東京・HD)
- 大学職員としての多様な視点と価値観を得ることのできた貴重なネットワークでした。もはや若手ではなくなりましたが、これからも若手のための会であってほしいです。(東京・HM)
- 勉強嫌いな私ですが、GNのおかげで広く強いネットワークができたことに感謝。これからもお世話になります！！(埼玉・やす)
- GNを通じ、大学業界をもっとよくしたいと考えている同世代の仲間達と出会えました。このつながりは、**仕事へのモチベーションを維持・向上する上で大きな励みになっています**。これからも素敵な仲間達との出会いのきっかけになることを願っています。(東京・T.I)
- 入職以来、たくさんの人との繋がり、成長の機会をGNに与えてもらいました！心から感謝しています。(東京・T.T)
- 日本の国づくりに教育を通じて携わっている私たち。10年間続いたこの繋がり壮志をこれからも大切に、この和を日本中に広げ、各地の教育の現場を活性化させていきましょう！(東京・Y.O)

- GNはやる気がある方ばかりが集まっているので、参加する度に多くの刺激をもらいました。勉強、交流の場としてとても貴重な場所だと思いますので、これからもどんどんメンバーの輪が広がっていけば良いですね。(埼玉・MT)
- GNでの活動を通して、**他大学の同世代の職員と繋がりができ、大きな刺激を受けました**。更なる発展を心より応援しております。(東京・K.I)
- GNと出会えてよかった！GNで学んだこと、出会えた人とのつながりに大感謝です。(埼玉・R.T)
- 国立大学職員という異端児(?)にとって、**GNは普段接する機会の少ない私大の方とやりとりできる貴重な場**です。GNを通して、日本の、そして世界の高等教育をちょっとでもよくしていけたらいいな、と思っています。(東京大学・小野里拓)
- いつも素晴らしいイベントを企画・運営してくださっている有志のスタッフの皆様、お疲れ様です。他大学の職員の方とも知り合うこともできる大変貴重な機会を提供くださり、感謝です。(東京・エミリオ)
- 同世代の優秀でおもしろい、素敵な職員の方々とお出合えて、多くの刺激を受けました。大学職員として働くこと、主体的に学び仕事に取り組むことのおもしろさを教えてくれたのは、GNでした^^ (東京・R.K)
- 仕事のモチベーションアップにつながっています！(東京・T.S)
- GNに参加して「ヨコ」のつながりができました。これからも皆さんでGNを盛り上げていきましょう！(東京・おにぎり)
- 他大学の先進的な取り組みを知ることができた！現場の担当者として課題解決を推進している方の「思い」は興味深く、生きた情報を得ることができた。今後の業務の参考になった！(東京・M.U)
- GNに参加することでいろんな方とお会いしてきました。たくさんの刺激を受けて、前向きに仕事に取り組むことができました。(東京・N.O)
- GNを通して沢山のことを学び、考え、そしてかけがえない友人が沢山出来ました！末永くGNが続きますように...★(明海大学・高橋翼)
- 私自身は、昨年度初めてGNの勉強会に参加させていただきましたが、様々な大学の方々知り合うことができ、大変良い刺激になっています。(新潟・S.N)
- 「若手」に似合う言葉はないかと引っ張ってきた「greenhorn」を未だに使っていただけていることが嬉しいです。(東京・タナカ)
- GNを通して、たくさんの方に出会い、多くの学びをいただきました★これからもどうぞよろしくお願いいたします(((o(*°▽°*)o))) (国土館大学・姫野彩理)
- 相談できる仲間、競える仲間ができることが最大の魅力**だと思います。これからもよろしくお願い致します。(東京・S)
- GNではいつも沢山の刺激と、様々な価値観を持つ優秀な方々のご縁に恵まれています。(東京・Y.A)
- GNで発表をしたことで、他大学の方と知り合え、更にその繋がり職員同士の交流が生まれました！ありがとうございます、そして10周年、おめでとうございます！(東京・K.N)

GN10 年間のあゆみ

Greenhorn Network が歩んできたこの 10 年間は、大学を取り巻く環境が大きく変わった 10 年間でもありました。この間の GN の活動記録を、当時の社会情勢とともにご紹介します。

2004 年度 ～ GN 発足！ ～

2004 年 7 月に浜松で開催された私立大学情報教育協会の研修参加メンバー有志で立ち上げられたのが今の GN です。当初は参加者の数も少なく手探りで運営でした。2005 年 3 月に行われた拡大懇親会がきっかけで、参加メンバーが増えていきました。

勉強会・・・3回
懇親会・・・1回

■この年のできごと

【大学数】709 校
【流行語大賞】チョー気持ちいい
【大学関連の主な出来事】国立大学の法人化、法科大学院制度の創設、認証評価制度の導入、日本育英会の事業を承継し日本学生支援機構が設立、AED の一般市民の使用が可能に

2005 年度 ～ 規模の拡大 ～

懇親会や勉強会を精力的に行い、メンバー数は 50 名を超えるまでに増加。様々な大学・部署からなるメンバーからの事例発表に、若手のうちから大学業務が多岐にわたることを実感しました。

勉強会・・・6回

【内容】■メンバー発表「大学職員の人事的考察」「ゼロから分かる大学会計入門」<12/11>

■メンバー発表「全国私立大学の財政状況」、ディスカッション「これから求められる大学職員」<3/21>

懇親会・・・5回（お花見@代々木公園<4/2>、懇親会@屋形船<8/14>、初参加者歓迎懇親会<10/10> など）

■この年のできごと

【大学数】726 校
【流行語大賞】小泉劇場、想定内（外）
【大学関連の主な出来事】個人情報保護法が全面施行に

2006 年度 ～ 勉強会スタイルの多様化 ～

勉強会は年 3～4 回程度と落ち着いた一方、従来のようなメンバー発表だけでなく、本間政雄氏のような著名な講師を外部からお招きするなど、勉強会のスタイルが多様化していきました。内容もさることながら、運営面でも色々と勉強になった年でもありました。

勉強会・・・3回

【内容】

■メンバー発表「キャリア・就職支援業務の基本ガイド」&石渡嶺司氏（ライター）講演「広報上手になるために」<6/3>

■メンバー発表「大学とインターンシップ」&ディスカッション「大学入試制度について」<9/18>

■本間政雄氏（大学マネジメント研究会会長）講演「事務改革」@大学評価・学位授与機構 竹芝オフィス<11/19>

懇親会・・・1回（お花見@芝公園<4/6>）

■この年のできごと

【大学数】744 校
【流行語大賞】イナバウアー、品格
【大学関連の主な出来事】教育基本法が昭和 22 年以來の改正、大学入試センター試験でリスニングテスト導入、研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン制定

2007 年度 ～ グループワークの導入 ～

1 回あたりの勉強会参加者数の増加によりグループワークが実施可能になり、新しい形の勉強会を実施しました。一方で、ネットワーク作りも大切であるという意識のもと、屋形船などの懇親会企画も引き続き実施しました。

勉強会・・・4回

【内容】

■メンバー発表「補助金」@慶應義塾大学三田キャンパス<6/3>

■グループワーク「職務経歴書に基づく業務分析～自分の仕事を分析する～」<9/9>

■荻田仁氏（株式会社内田洋行）講演「大学を取り巻く環境の変化と職員に求められること」<12/10>

■メンバー発表「情報系部門の業務について」「校友業務について」<3/9>

懇親会・・・2回（懇親会@屋形船<8/19>、新年会<1/14>）

■この年のできごと

【大学数】756 校
【流行語大賞】（宮崎を）どげんかせんといかん、八二カミ王子
【大学関連の主な出来事】学校教育法の改正により「助教授」廃止&「准教授」「助教」新設、はしかの感染拡大で、複数の大学で全面休講



2008 年度 ～コラボレーションの活発化～

メンバー数は約 90 名に。今も続く読売新聞の企画「大学の實力」記者をお招きしての講演会や、他組織とのコラボレーションも実施。各大学のキャンパス見学も人気企画となりました。

勉強会・・・4回

【内容】

- メンバー発表「大学職員のための図書館入門～職員力アップのための図書館活用術～」 「社会と大学の接点・就職センターの取り組み」@北里大学白金キャンパス<6/15>
- 松本美奈氏（読売新聞記者）講演「大学職員の實力～大学の實力を左右する大学職員の役割について～」<9/21>
- メンバー発表「募集広報業務の基本ガイド～理論ではなく実践的な内容で～」 「大学職員として専門性アップのための情報収集&自己研鑽法」@青山学院大学青山キャンパス<11/9>
- 青山学院大学ヒューマン・イノベーション研究センター（HiRC）とのコラボレーション企画「オープンキャンパスを考える」@青山学院大学青山キャンパス<3/9>

懇親会・・・1回（キャンパス見学会（玉川大学）&新年会<1/12>）

■この年のできごと

- 【大学数】765校
- 【流行語大賞】グ～！、アラフォー
- 【大学関連の主な出来事】教職大学院の開設（4月）、大学設置基準においてFDが義務化



2009 年度 ～ コア勉強会「GN+」開始～

「元大学職員」となったメンバーの一人の協力により実現した勉強会を実施しました。現在のホームページに移行したり、コア勉強会企画「GN+」がスタートしたりしたのもこの年です。

勉強会・・・3回

【内容】

- 寺崎昌男氏（立教学院本部調査役・東京大学名誉教授・桜美林大学名誉教授）講演「大学教員と大学職員～ライフステージと大学の特質の中で考える～」@桜美林大学四谷キャンパス<10/18>
- 倉部史記氏（早稲田塾総合研究所主任研究員※当時）講演「<未来の恩師>との出会いから、志望校選びを始める。早稲田塾と大学との、塾大連携・スーパープログラム」@早稲田塾秋葉原校<7/25>
- メンバー2名の発表（テーマ：「ザ・教務！」）&キャンパスツアー@成蹊大学<1/11>

懇親会・・・1回（新年会<1/11>）

■この年のできごと

- 【大学数】773校
- 【流行語大賞】政権交代
- 【大学関連の主な出来事】事業仕分け、新型インフルエンザ感染拡大により、入試等に対応



2010 年度 ～ 東日本大震災の発生～

新人層を意識した勉強会（若手メンバーの発表）を行いました。年度末には大震災が発生し、翌々に予定されていた勉強会が中止。今までにない形で「社会の中の大学」を見つめる機会となりました。

勉強会・・・3回

【内容】

- 若手メンバー3名による業務紹介発表（教職課程系、企画系、研究支援系）&キャンパス見学@立教大学池袋キャンパス<5/23>
- グループワーク&発表「あなたの大学のオンリーワンは～one minute only one～」<11/14>
- キャンパス見学会@獨協大学<1/10>

懇親会・・・2回（お花見<4/4>、新年会<1/10>）

■この年のできごと

- 【大学数】778校
- 【流行語大賞】ゲゲゲの～
- 【大学関連の主な出来事】東日本大震災発生



2011 年度 ～ GN 認知度の上昇 ～

大学関連の雑誌などで GN が取り上げられ、認知度上昇を実感。勉強会のテーマには東日本大震災に関するものが見られました。

勉強会・・・4回

【内容】

- テーマ「身近で遠い 国際業務への誘い」メンバー発表「そもそも“国際”ってナニ？～大学国際交流の概略とその実態～」&「教育推進の国際化～英国と本学の事例、3.11 後について」@武蔵野大学武蔵野キャンパス
- キャンパス見学会&座談会形式での情報交換「3.11 を共有する一あの時それ以後、東日本大震災が私たちに与えた影響とは一」@青山学院大学相模原キャンパス<7/24>
- 小林浩氏（株式会社リクルート発行「カレッジマネジメント」編集長）講演「編集者の立場から大学の戦略を考える」<10/16>
- キャンパスツアー&グループワーク「秋入学」@慶應義塾大学日吉キャンパス<3/4>

懇親会・・・2回（懇親会<9/25>、新年会<1/9>）

2012 年度 ～ Facebook ページの開設 ～

大学コンソーシアム京都から報告者として招待を受けました。Facebook ページや入職 5 年目まで限定の勉強会などの試みも。メンバー数は約 200 人となり、GN のステージが変わりました。

勉強会・・・4回

【内容】

- 若手 GN メンバー 3 名による業務紹介発表（企画系部署、附属学校部署、就職・キャリア）&キャンパスツアー ※入職 1～5 年目限定<5/27>
- 小野里拓氏（東京大学本部国際企画課）講演「アメリカの大学は本当にすごいのか？～モンタナ・コロラドの州立大学で学んだこと・考えたこと～」&キャンパスツアー@東京大学本郷キャンパス<7/22>
- GN+に設けられた 3 つの PG（大学人の読書会 PG、事例研究 PG、大学職員志望者支援 PG）による活動報告@ルーテル市ヶ谷センター<10/14>
- 梅澤貴典氏（中央大学）講演会&グループワーク「大学職員としての視野をグローバルに広げる。～“通じる”英語を磨いて世界を学ぼう・日本を変えよう！～」&キャンパスツアー@中央大学後楽園キャンパス<3/10>

懇親会・・・2回（懇親会<9/25>、新年会<1/9>）

2013 年度 ～ 新人層が参加しやすい工夫 ～

GN が設立されてある程度の時間が経ち、当初から参加しているメンバーの肩書は異動や転職で変わった方がほとんど。スタッフも「もう青二才とは言っていない」と自覚しました。一方、より多くの新人層職員が参加できる勉強会をめざし、昨年に引き続き参加対象を入職 5 年以内に限った勉強会を開催しました。

勉強会・・・4回

【内容】

- グループワーク「あなたが考える“良い大学”とは？」「学生獲得のためにできることは？」@お茶の水女子大学※入職 1～5 年目限定勉強会<5/27>
- 稲垣靖氏（52 ソリューション・ドット・コム株式会社）講演「Web ソリューション」@立教大学池袋キャンパス<7/21>
- メンバー 3 人による発表「大学職員の『出向』を考える」@神奈川大学横浜キャンパス<10/20>
- グループワーク「ワールド・カフェをやってみよう」@武蔵野大学有明キャンパス<3/9>

懇親会・・・1回（新年会<1/13>）

■この年のできごと

- 【大学数】780 校
- 【流行語大賞】なでしこジャパン
- 【大学関連の主な出来事】東日本大震災の影響で式典中止・授業開始の延期・短縮等が相次ぐ、東京大学が秋入学の素案を発表



■この年のできごと

- 【大学数】783 校
- 【流行語大賞】ワイルドだろお
- 【大学関連の主な出来事】在留管理制度が改正され、外国人登録制度が廃止、日本政府が、高等教育の段階的な無償化を定めた国際人権 A 規約（13 条 2 項 b、c）の留保を撤回

■この年のできごと

- 【大学数】782 校
- 【流行語大賞】今でしょ！、お・も・て・な・し、じぇじぇじぇ、倍返し
- 【大学関連の主な出来事】東京が 2020 年のオリンピック開催地に決定、「公的研究費の管理・監査のガイドライン」改正



そして 2014 年度・・・GN 設立 10 周年！

- 勉強だけではなく、**大学職員の輪を広げられるとても貴重な場**で、多くのものを得ることができました。今後も、更なる発展に期待です！（東京・yamato）
- GNを通して多くの知識やスキルが身につきましたが、なによりも多くの仲間ができたことがイチバンです！GNなくして今のキャリアはありません。心から感謝★ゞ（*´▽`*）ノ（神奈川県・じろー）
- 浜松研修での出会いが懐かしいです。初期メンバーの皆様のご活躍ぶりを聞く度に自分ももっと精進しなくてはと思っています。（嘉悦大学・栗原美紀）
- GNでの活動を経て、**知識だけでなく多くの同業他社（他大学）や関連団体の方々と世代や職種を超えて出逢えたことが大変嬉しかった**です。（東京都・T.U）
- 高い志を持った大学職員の方々となつながらことができ、日々、良い刺激をいただいています。大学職員が仲間として学び合い、成長する機会をご提供して下さるGNの、ますますのご発展をお祈り申し上げます。（東京都・Y.K）
- 若手職員が集まって切磋琢磨できるのは、本当にありがたいです。他大学の取り組みや参加者皆様のご経験談は毎回いい刺激をいただいております。なかなか参加できる機会が少ないのは残念ですが、これからも伺いたいと思います。横のつながりは大学という業界独特のものだと思いますので、GNが20年・30年続くといいですね。（東京都・H.N）
- 大学職員として積極的に活動されている方と知り合うことができ、いつも有意義に過ごすことができ、運営の方には感謝しております。（多摩大学・五位淵大）
- GNを通してたくさんの大学職員の方と知り合うことができ、また色々なことを学べました。今後ますます若手が若手を盛り上げるような会になることを期待しています。（聖徳大学・吉野将）
- Greenhorn“青二才”大学職員であった私も、GNの大学横断的な活動を通じ、沢山の大学職員仲間や多くの心の糧を得ることができました。創設10周年を祝うと共に、活動の更なる飛躍と発展を願っております！！（東京都・T.I）
- 本来はライバル企業同士なのに、みんなが同じ方向を向きながら協力していくこの集まりをととても貴重に思っています。次の10年に向けて、更なる発展を念じております。（東京都・K.B）
- GNを通して他大学の職員さんと出会い、多くの刺激をいただいています。**大学職員を選んでよかった、大学職員って面白い！と思える場所**です。いつもありがとうございます！（神奈川・M.S）
- GNを通して色々な他大の方と知り合う事が出来て大変良かったです。最近あまり勉強会には参加できておりませんが、今後また参加して行きたいと思っています！（東京都・ヒロ）
- 創立10周年おめでとうございます！これからも20年、30年と、未長く続く組織を目指していただければと思います。今後も様々な企画を期待しています！（千葉・ena）
- GNで学んだ結果、去年、昇進試験に受かりました。GN最高！（東京・よゐこ）
- GN暦≒社会人暦です。GNで大学業界の知識を得ただけでなく、みなさんに刺激をもらい、新たな目標に挑戦することができました。これからも頑張れ、GN！頑張れ、大学職員！！（東京・H.K）
- GNを通して大学職員の人脈が広がったと思います。ありがとうございます。新人対象ということで参加しづらくなったので年寄向けにもあると嬉しいです。（東京・S女性）
- GNがはじまった時に中学生だった方が、いま同じ職場で働いているのが10年という時間。大学職員間の交流の窓口としての役割を、これからも期待しています。（東京・T.Y）
- 10周年おめでとうございます！これからも、大学業界を盛り上げていってください！（東京・T.H）
- これからも未永く活動されることを願っています。（東京・ふーた）
- 浜名湖で出会い、浜松城で徳川家康のようになると誓い合ってから10年。会員の皆様のご活躍、刺激になります。今後とも本会の更なる発展、会員の益々のご活躍を！（立正大学・岩附良太）
- GNのおかげで、社会人になっても「仕事がわかりあえる」友人ができました。これからGNはどこまで大きくなるのか、ドキドキしながら一緒に見守っていきたいです。（東京・D.S）
- GNを通じて、**他大学職員と切磋琢磨することができ、業務上、私生活上ともに刺激をもらうことができました**。今後も発展し、職員の育成へ努めて下さい。（東京・F.H）
- 職場で困った事や聞きにくい事をGNで出会った人たちに相談したり、意見を出し合ったおかげで、今も無事に大学職員を続けられています。これからも次世代を担う人の支えとなる会をいてください。（東京・ST）
- 素敵な仲間巡りに巡り合えたGNに感謝しています！（東京・MS）
- GNの勉強会に参加して、たくさんの人とのつながりをもつことができました。感謝です！！おかげで中途採用でもアウエー感無しです（^^）ノ（東京・T.O）
- GNの勉強会は、**大学業界の勉強、キャンパスツアー、他大学職員の方との交流など、参加してみても非常に有益**でした。（東京・N.U）
- 祝！GN10周年！皆さんの、意識の高さ、自己研鑽欲にこれからも刺激されたいです！（東京・hana）
- GNが10周年を迎えたように、私も入職して10年が経ちました。入職間もない頃からGNに参加させていただき、視野・知識が広がったこと、何より沢山の仲間と出会ったことに感謝致します。（東京・ko-zi）
- 大学職員という狭い世界ですが、同世代で語り合うことができ、とても嬉しく思います。自分たちで勉強したことを次の世代へ繋げていければ良いですよ♪（東京・M.Y）
- GN10周年おめでとうございます！！今後も大学職員界を盛り上げて下さい。（國學院大学・鈴木一匡）
- 気がつけば入職から早〇年。初めてGNに参加した新人時代の「右も左もわからない」気持ちを懐かしく思います。今後も大学職員になりたての方をはじめ、若手職員の勉強への入口として活発な活動を続けられることを期待します。（東京・S）
- 他大職員とのつながりは財産！（東京・ReporterK）

数字で見る GN の 10 年間

GN メンバーの共通点は「若手職員」という一点でのみ。部署も年齢もバラバラ。文科省や関連団体に所属するメンバーもいます。ここでは、GN の「いま」について、数字を用いてご紹介します。

メンバー数

217 名

設立当初は 11 名だった GN のメンバーも、10 年の時を経て今では約 200 名に拡大しました。

開催したイベントの回数

57 回

近年の勉強会は年間 3～4 回の開催で落ち着いています。また、GN では人のつながりを重視しており、新年会やお花見などの勉強会以外のイベントも多く開催しています。

勉強会への参加者総数

770 名以上（参加者数カウントを始めた 2007 年度以降の数字）

当初は参加者数が 1 ケタばかりだった勉強会の参加者の数も、メンバー数の増加や勉強会形式の多様化に伴い増えていきました。現在はコンスタントに 20～30 名程度が参加しています。

公式サイトアクセス件数

377,464 アクセス以上（集計可能な 2008 年 9 月以降の数字）

設立して間もなく GN 公式ウェブサイトは立ち上げられましたが、ブログ形式の今のウェブサイトに移行したのは 2009 年 11 月 30 日のこと。それ以降、急速にアクセス数が増えていきました。

メンバーの所属大学・関連機関 ※2014 年 4 月現在のメーリングリスト参加者

青山学院大学／跡見学園女子大学／茨城キリスト教大学／宇都宮大学／桜美林大学／大阪医科大学／嘉悦大学／神奈川大学／関西大学／関東学院大学／北里大学／慶應義塾大学／工学院大学／國學院大学／国際医療福祉大学／国際基督教大学／国際武道大学／国士舘大学／産業能率大学／実践女子大学／十文字学園女子大学／淑徳大学／首都大学東京／順天堂大学／城西国際大学／昭和女子大学／成蹊大学／聖徳大学／聖心女子大学／創価大学／高千穂大学／拓殖大学／玉川大学／多摩大学／多摩美術大学／千葉明德短期大学／中央大学／津田塾大学／帝京大学／東海大学／東京国際大学／東京大学／東京電機大学／東京農業大学／東京薬科大学／東京理科大学／東邦大学／東北学院大学／東洋英和女学院大学／東洋大学／獨協大学／長岡技術科学大学／日本大学／日本体育大学／広島修道大学／文化学園大学／文化ファッション大学／文教大学／法政大学／放送大学／星薬科大学／武蔵野大学／明海大学／明治大学／明治学院大学／明星大学／ヤマザキ学園大学／立教大学／立正大学／立命館大学／和光大学／早稲田大学／文部科学省／日本私立学校振興・共済事業団／日本私立大学協会／日本学術振興会
計 72 大学・4 機関

Greenhorn Network 設立 10 周年記念会報誌

編集/発行 Greenhorn Network 記念誌編集チーム

 www.greenhorn-network.jp

 www.facebook.com/greenhornnetwork

 info.greenhorn.net@gmail.com ■を@に変えてください



10 周年記念ロゴ